

広域地方計画作業WGの体制の見直しについて

■WG運営における見直し点

- ①作業WGへの参加については、各機関とも2つの班までの参加としていましたが、すべての班への参加を希望している機関も複数あることから、すべての班に参加可能といたします。
- ②第3班については、プロジェクト数が第1班、第2班に比べ多く十分な議論ができないとの意見を踏まえ、第3班を2つの班に分けることとし、班編成は下記のとおり変更します。

(当初)

第1班

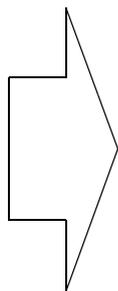
- ①文化首都圏P
- ②広域観光P

第2班

- ③次世代産業を創造する「知の拠点」P
- ④大阪湾ベイエリアの再生P
- ⑤広域物流ネットワークP

第3班

- ⑥CO₂削減と資源循環P
- ⑦水と緑の広域ネットワークP
- ⑧関西を牽引する賑わい創出P
- ⑨都市と農山漁村交流P
- ⑩広域医療P
- ⑪広域防災・危機管理P



(変更)

第1班

- ①文化首都圏P
- ②広域観光P

第2班

- ③次世代産業を創造する「知の拠点」P
- ④大阪湾ベイエリアの再生P
- ⑤広域物流ネットワークP

第3班

- ⑥CO₂削減と資源循環P
- ⑦水と緑の広域ネットワークP

第4班

- ⑧関西を牽引する賑わい創出P
- ⑨都市と農山漁村交流P
- ⑩広域医療P
- ⑪広域防災・危機管理P